

つるみ臨海フェスティバルにて広報活動

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林一陸尉）は、10月19日（土）、横浜市鶴見区の入船公園で開催された「つるみ臨海フェスティバル」において、自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を行った。

当日は天候にも恵まれ多くの市民の方が来場し広報ブースでは、高機動車の展示、ちびっこ迷彩服の試着等を行い地域住民との交流を図った。特に間近で見ると高機動車に来場者からは、「格好いい！」「すごい！」など多くの声が聞かれた。また災害派遣活動パネル展示では、先の台風19号の被害復旧のための災害派遣も同時期に行なわれていたこともあり、「いつもありがとう。頑張ってください」など、自衛隊の活動に対する慰労の言葉が多く聞かれた。当日は、横浜出張所自衛官募集相談員もブースを訪れ、所員を激励した。

横浜出張所は、「今後も、地域と密接に連携した様々なイベントに参加して、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。



高機動車に乗って敬礼！



スタンプに夢中

横浜市各区民まつりで協力者と連携して自衛隊をPR
～来場者からは、災害派遣に対する感謝の言葉～

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、10月20（日）、横浜市旭区で行われた「旭区誕生50周年記念事業 旭ふれあい区民まつり」に参加し、自衛隊をPRした。これは旭ふれあい区民まつり実行委員会から募集相談員を通じて参加依頼を受けたもので、当事務所が防衛省・自衛隊の認知度を高めるとともに募集及び防衛基盤の拡充を図ることを目的に募集広報ブースを出展し、装備品及び災害派遣パネルの展示説明等を行った。当日は曇り空の天候ではあったが、多くの人々が自衛隊ブースを訪れ、災害派遣での自衛隊の活躍に対して温かい感謝の言葉を掛けていただいた。また災害派遣パネルを真剣に見学する親子や、缶詰を活用したクイズに挑戦し正解してグッズを受け取ると満面の笑顔で喜び子供の姿が印象的だった。

横浜中央募集案内所は、「今後も地域の協力者と連携しながら、このようなイベントに積極的に参加し、適齢者情報の獲得に努め、募集成果につないでいきたい」としている。



災害派遣の写真パネルに見入る親子



非常食の缶詰を利用したクイズに挑戦する子供



支援を頂いた地域の募集相談員と所長